

# 京都市交響楽団

## 第561回定期演奏会

The 561st Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

2012  
9/7 

午後7時開演 (午後6時開場)

### 京都コンサートホール

Friday, September 7, 2012 / 7:00PM  
Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

開演前(午後6時40分ごろから)は指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。  
「プレトーク」はホール・ステージ上にて開催します。



©Naoya Yamaguchi

©John Kringas

指揮 下野 竜也

Conductor : Tatsuya SHIMONO

ヴァイオリン ヴァディム・グルーズマン

Violin : Vadim GLUZMAN

ブリテン:歌劇「ピーター・グライムズ」から、パッサカリアop.33b  
ショスタコーヴィチ:ヴァイオリン協奏曲第1番イ短調op.77  
ペルト:カントゥス〜ベンジャミン・ブリテンの思い出に  
ブリテン:シンフォニア・ダ・レクイエムop.20

Britten : Passacaglia from Opera "Peter Grimes" op.33b  
Shostakovich : Concerto for violin and orchestra No.1 in A minor op.77  
Pärt : Cantus in memory of Benjamin Britten  
Britten : Sinfonia da requiem op.20

下野竜也の  
ベンジャミン・ブリテン頌&  
完全無欠のヴィルトゥオーゾ  
グルーズマン!

入場料  ¥4,500  ¥4,000  ¥3,500  ¥2,000 (舞台後方席)

- ◆プレイガイド ・京都コンサートホール (075)711-3231 (ホームページからオンラインチケット購入もできます)  
(電話予約) ・電子チケットびあ (0570) 02-9999 Pコード155-828  
・ローソンチケット (0570) 000-407 Lコード52032
- ◆当日残席がある場合のみ発売: 学生券&後半券 S¥2,000 A¥1,500 B¥1,000  
※学生券は開演1時間前から(学生証をご提示ください)、  
※後半券は開演後から休憩終了(後半開始)まで発売(学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)
- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。  
(お子様お1人につき1,000円/8月31日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります!京響(075-711-3110)までお問い合わせください。
- ◎お問い合わせ・京都コンサートホール (075) 711-3231・京都市交響楽団 (075) 711-3110
- ◎ホームページ: <http://www.kyoto-ongeiibun.jp/kyotoconcerthall/> (京都コンサートホール)  
・<http://www.kyoto-symphony.jp/> (京都市交響楽団)
- ◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
- ◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市  協賛: ローム株式会社 協力: 株式会社ドルチェ楽器 後援: (株)エフエム京都  
発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団



美しいひびき、感動にみちた  
音楽との出会いをお届けします。



# 京都市交響楽団 第561回定期演奏会

The 561st Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

真摯な楽譜の読み込みから作品の本質に迫る若手ナンバーワンの本格派指揮者・下野竜也が、  
20世紀イギリスが誇る大作曲家ベンジャミン・ブリテン(1913~76)をめぐる  
意欲的なプログラムに取り組みます。下野が絶賛するヴァイオリンのヴァルトゥオーゾ、  
グルーズマンで聴く渾身のショスタコーヴィチもお聴き逃しなく!



©Naoya Yamaguchi

指揮 下野 竜也 Conductor : Tatsuya SHIMONO

1969年鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。1996年にはイタリア・シエナのキジアーナ音楽院でオーケストラ指揮のディプロマを取得。1997年大阪フィル創立50周年記念を機に設けられた指揮研究員オーディションに合格、初代指揮研究員として1999年まで、(故)朝比奈隆氏をはじめ数多くの巨匠の下で研鑽を積む。1999年文化庁派遣芸術家在外研修員に選ばれ、ウィーン国立演劇音楽大学に留学、2001年6月まで在籍。2000年第12回東京国際音楽コンクール<指揮>優勝(第1位)と齋藤秀雄賞の受賞、2001年第47回プザンソ国際青年指揮者コンクール優勝(第1位)で、一躍脚光を浴びる。以降、国内外の主要オーケストラに客演、その多くは再度の客演へと発展している。2009年には、ローマ・サンタ・チェチリア管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団と国際的なオーケストラへの定期演奏会にデビューを果たし成功を収め、その後も2010年3月にシュツットガルト放送響にデビュー、10月にカンヌPACA管への再客演、そして2011年4月には南西ドイツフィルへのデビューを飾るなど、急速に国際的な活躍の場を拡げている。国内では、2006年、読売日本交響楽団の「正指揮者」に就任。同楽団との意欲的な活動に加え、国内主要交響楽団の指揮台に迎えられている。加えてオペラでは、二期会「魔笛」「ヘンゼルとグレーテル」「メリー・ウィドー」、日生劇場「ヘンゼルとグレーテル」「夕鶴」、首都オペラ「運命の力」、新国立劇場「沈黙」などを指揮。吹奏楽にも熱心に取り組み、2011年1月には、広島ウインドオーケストラの音楽監督に就任。アフィニス音楽祭、霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭、別府アルゲリッチ音楽祭、サイトウキネン・フェスティバル松本など、各地の音楽祭にも招かれている。学校コンサート、親子コンサートなどの教育プログラム、ジュニアオーケストラの指揮、指揮マスタークラス等、後進の指導、育成にも熱意を注ぎ、その活動は多岐にわたる。2007年4月より上野学園大学音楽学部教授。2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・プレジデント賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。



©Roman Malamant

ヴァイオリン ヴァディム・グルーズマン Violin : Vadim GLUZMAN

イスラエル国籍のヴァイオリニスト、ヴァディム・グルーズマンは、現在演奏会場で聴くことのできる演奏家の中でも、とりわけ卓越した演奏家のひとりである。そのテクニックと感性は、19、20世紀の巨匠たちの黄金時代を彷彿とさせ、その情熱とエネルギーは21世紀へのあるべき姿を提示する。評論家、聴衆の双方からヴァルトゥオーゾックで、輝かしい技巧、深い精神性が賞賛されており、ソリストとして、また人生の伴侶でもあるピアニスト、アンジェラ・ヨッフフェとのデュオで、世界各地で演奏を続けている。グルーズマンは、定期的にロンドン・フィル、シカゴ交響楽団、イスラエル・フィル、サンフランシスコ交響楽団、シンシナティ、デトロイト、ヒューストン、シアトル、ミネソタの交響楽団、ミュンヘン、ドレスデン、ベルリン・ドイツ、チェコ・フィル、シュツットガルト放送響、KBS交響楽団、NHK交響楽団等に招かれている。世界的な指揮者たちとも共演が多く、晩年のメニューインをはじめ、ヤルヴィ(ネーメ、パーヴォ、クリスチャン)、リットン、ヤノフスキ、ブルゴス、バルマン等の名前が挙げられる。また、大野、広上、下野等、日本人指揮者とも共演している。ヴェルビエ、ラヴィニア、ロツケンハウス、カザルス、シュヴェツィンゲン、ラジオ・フランス等の音楽祭にも招かれている。2010-11年シーズンは、アメリカ、オーストラリア、カナダ、イギリスとヨーロッパ各地で演奏を続け、そこには、ロンドンのウィグモアホールでのリサイタルデビュー、オルフェウス室内管弦楽団とのカーネギーホールでの演奏とツアー、サンフランシスコ響、ロンドン交響楽団、トロント交響楽団との演奏が含まれる。グルーズマンは、レコーディング活動も活発で、ビス(BIS)レコードと専属契約を結んでいる。最近の録音としては、コルンゴルドとリリアナの作曲家、ドヴァリオナスの協奏曲を収めたCD(ネーメ・ヤルヴィ指揮、ハーグ・レジデンティ・オーケストラ)、バーンスタインのセラナーデ、パーバーの協奏曲を収めたCD、グラスノフ、チャイコフスキーの協奏曲を収めたCD(アンドリュウ・リットン指揮、ベルゲン・フィル)等が挙げられ、なかでもベルゲン・フィルとのCDはディアパノン・ドール年間最優秀CD(協奏曲)に選ばれた。1973年にウクライナで生まれ、ヴァイオリンの勉強を7歳の時にはじめた。1990年にイスラエルに移るまで、ロマン・スネ、ザハール・ブロンに、後にヤイル・クレスにテル・アヴィヴで師事した。グルーズマンは、更にアメリカのジュリアード音楽院で、ドロシー・ティレイと川崎雅夫に師事した。使用楽器は、シカゴのストラディヴァリ協会の厚意により長期貸与された、レオポルド・アウアーが使用していた1690年製のストラディヴァリウス。公式ホームページwww.vadimgluzman.com



京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団(京響)は、日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年に創立。最近では、楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏などにも積極的に取り組み、07年「第25回京都府文化賞特別功労賞」、「京都創造者大賞2007」受賞。08年4月からは、第12代常任指揮者に広上淳一、桂冠指揮者に大友直人が就任し、09年は「スプリング・コンサート」や「オーケストラ・ディスカバリー」など新企画で注目を集めた。10年11月広上淳一指揮による定期演奏会のライブ録音CD第1弾を発売し、12年2月にはライブ録音CD第2弾を発売。半世紀という節目を経て、「京響」は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進をはかっている。

## 次回予告

2012年 7/20(金)から発売!



©三浦興一

### 第562回 定期演奏会

千変万化する怒濤のロシアン・ダイナミクス!  
巨匠ラザレフのドラマティック・チャイコフスキー

日時: 2012年10月28日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール  
指揮: アレクサンドル・ラザレフ  
曲目: チャイコフスキー: 弦楽セレナード 八長調op.48  
チャイコフスキー: 交響曲第5番ホ短調op.64

入場料

◎¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

## 次回予告

2012年 8/12(日)から発売!



©Masahide Sato

### 第563回 定期演奏会

高関健×河村尚子、旬の実力派が響演!  
～憂愁の秋に舞うブラームス&ラヴェル～

日時: 2012年11月30日(金) 午後7時開演

会場: 京都コンサートホール  
指揮: 高関 健  
独奏: 河村 尚子 (ピアノ)  
曲目: ブラームス: ピアノ協奏曲第1番二短調op.15  
ラヴェル: 優雅で感傷的なワルツ  
ラヴェル: ラ・ヴァルス  
ラヴェル: 「ダフニスとクロエ」組曲第2番



©Ariga Terasawa

入場料

◎¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)